

# あいち地産地消SAFサプライチェーン推進協議会

## 2025年度活動振り返り・2026年度活動全体像

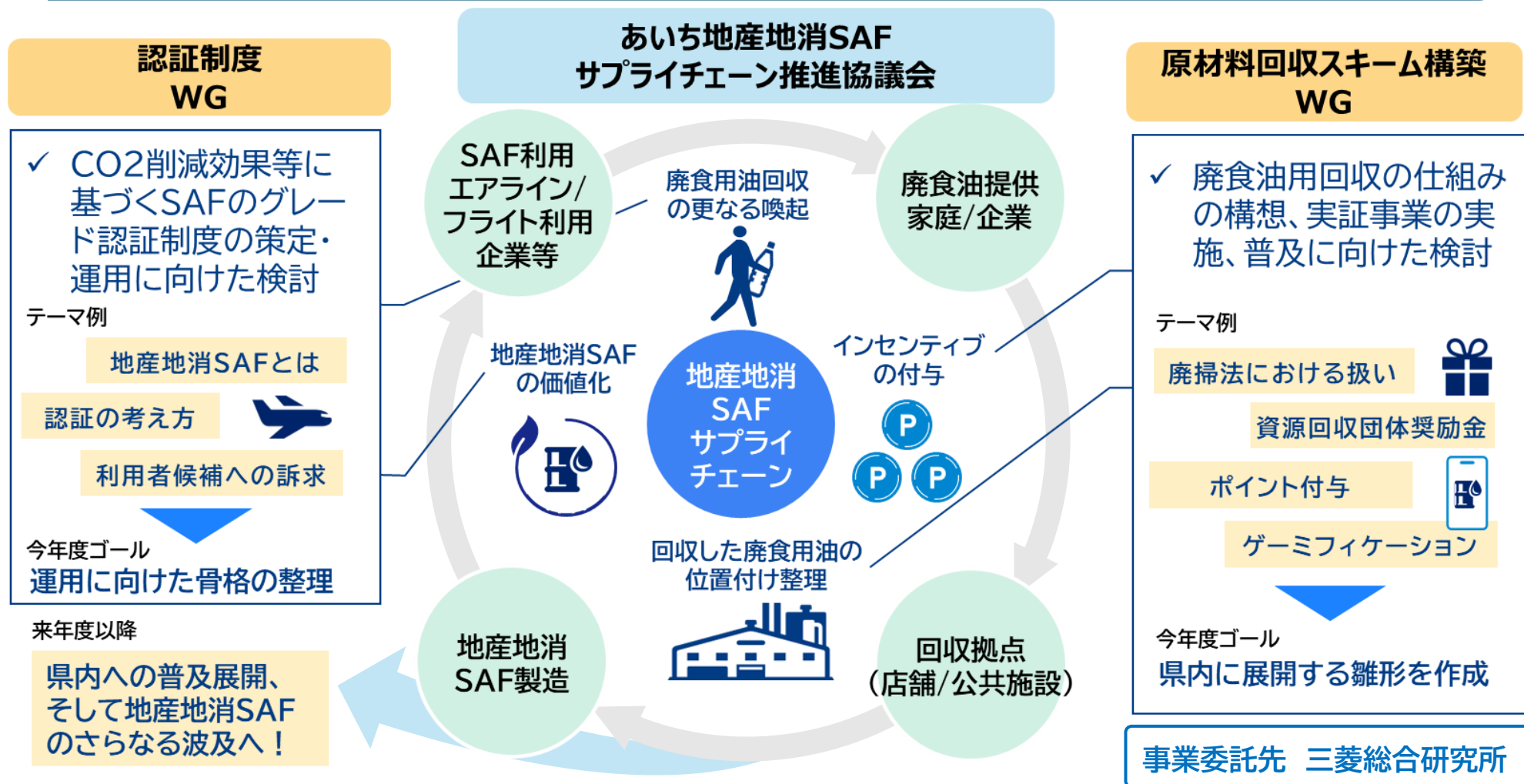
2026年7月8日（水）

愛知県経済産業局次世代モビリティ産業課

# 2025年度の振り返り

# 2025年度の振り返り（活動全体像）

- ✓ 「**あいち地産地消SAFサプライチェーン推進協議会**」の設立
- ✓ 原料となる**廃食用油の回収スキーム構築**に向けた検討
- ✓ 地産地消SAFの価値の見える化＝**グレード認証制度の策定・運用**に向けた検討



# 2025年度の振り返り（2025年度の主要成果一覧）

## 原材料回収スキームWG関係

### ■ 『廃食用油回収推進のためのガイドブック』の策定

- ✓ スーパー等の民間事業者との連携による回収拠点の拡充、県民への普及啓発、法令解釈に基づく適正な運用などについて、先行事例を交えながら具体的な手法を紹介。
- ✓ 家庭系廃食用油の回収に関わる愛知県内の市町村や事業者が、各々の判断に応じて、各地域の実情に応じた家庭系廃食用油回収の仕組みを構築することを企図。

### ■ PR事業・県民意識調査の実施

- ✓ 株式会社アオキスーパー及び日本航空株式会社が、アオキスーパー店頭での廃食用油回収を行う「すてる油で空を飛ぼう」プロジェクトを実施。全店舗での回収スタートを記念したイベントに、大村知事（協議会会長）が出席。
- ✓ 県民意識調査の実施。定期的な普及啓発による認知形成、回収拠点の拡大や持ち込みし易さの重要性を確認。

## 認証制度WG関係

### ■ 地産地消SAFの定義・価値化に関する論点整理

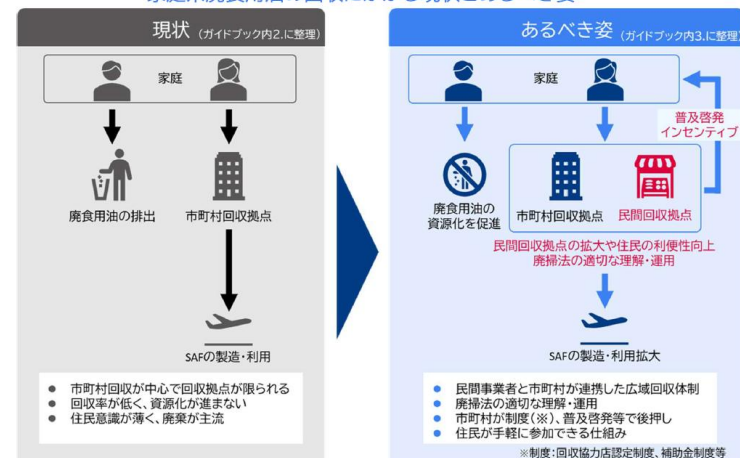
- ✓ CO2削減効果等に基づくSAFのグレード認証の策定・運用に向け、地産地消SAFの定義の候補を整理。
- ✓ 地産地消SAFの価値創出として、キャッシュフロー創出策の案を提案するとともに、特に「ものづくり企業」の集積地域としての特性を生かした地域経済への波及効果の見える化・機運醸成を進める方向性を示した。

### ■ トレーサビリティシステムの設計・実証計画の策定

- ✓ 地産地消SAFのトレーサビリティシステムの実現に向け、地産地消SAFの定義に基づきトレースすべき情報を想定した実証計画を整理。

## ガイドブックのコンセプト

家庭系廃食用油の回収にかかる現状とあるべき姿



## 株式会社アオキスーパー様記念イベント



# 2025年度の振り返り（協議会の開催結果）

プロジェクトの事業化支援を始め、この地域でのSAFサプライチェーンを構築するため、**県知事を会長**とし、**40の企業や市町村等**からなる「**あいち地産地消SAFサプライチェーン推進協議会**」を**2025年8月8日に設立**し、第1回会議を開催。

第2回会議は2025年度の活動報告を行い、**本協議会アドバイザーである愛知大学戸田教授より総括と今後の期待**についてコメント。



## 第1回会議の主なコメント

- ◆ **レボ・インターナショナル**：世界に先駆けて“GHG排出削減量”の多いSAFの製造を推奨する“あいちモデル”の策定・実証と“地産地消型”のサプライチェーンを構築することを目指すことを表明。
- ◆ **NTTデータ**：地域で“集める”、ムダなく“作る”、地域で“使う”の三つの柱を説明。①資源獲得能力の向上、②地産地消モデルの環境価値指標化、③環境価値取引の市場化へ取り組む実証のアプローチを紹介。

## 第2回会議の主なコメント

- ◆ **愛知大学・戸田教授**：愛知県の強みである「ものづくり産業」を背景とした検討を評価。今後の方針として、東三河などを想定した地域モデルの推進や、事業者提案を県が支える形での取組の発展、活動の可視化に期待する。

### 第1回会議（2025年8月8日（金）午後3時30分～午後5時）

**開催方法・会場** 対面とオンライン（Teams）のハイブリッド形式  
（会場：愛知県産業労働センター（ウインクあいち））

**参加者** 大村愛知県知事、提案企業等構成メンバーのほか、  
本協議会に関心を寄せる企業・団体が参加  
（会場参加：28企業・団体、オンライン参加：27企業・団体）

### 内容

開会挨拶（会長：知事）、記念撮影  
協議会設立及びプロジェクトの紹介  
国内SAFサプライチェーン取組事例紹介  
日本航空株式会社/中部国際空港株式会社及び合同会社SAFFAIRE SKY ENERGY  
交流会（名刺交換）

### 第2回会議（2026年2月17日（火）午後1時30分～午後3時）

**開催方法・会場** 対面とオンライン（Teams）のハイブリッド形式  
（会場：愛知県産業労働センター（ウインクあいち））

**参加者** 大村愛知県知事、提案企業等構成メンバーのほか、  
本協議会に関心を寄せる企業・団体が参加  
（会場参加：17企業・団体、オンライン参加：31企業・団体）

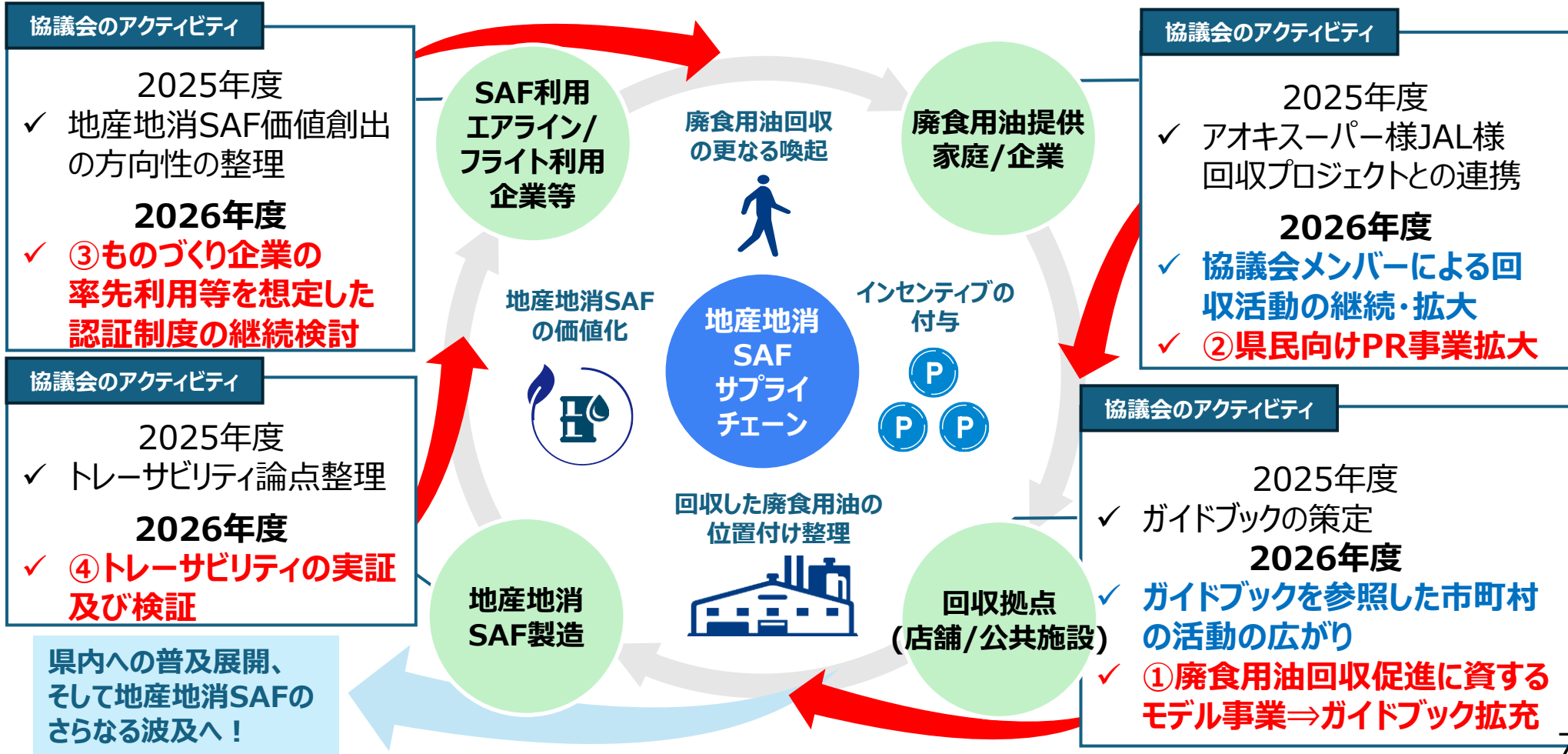
### 内容

開会挨拶（会長：知事）  
報告  
2025年度の活動について/各ワーキンググループにおける検討結果について  
2026年度の活動について  
交流会（名刺交換）

# 2026年度の実施計画

# 2026年度の活動の方向性

- 協議会メンバーの取組み継続/横展開と、新たな施策立上げにより、機運醸成を加速！
  - 回収プロジェクト継続、ガイドブックに基づく自主的取組みの広がりへの期待（既存取組みの継続・横展開）
  - 新たな廃食用油回収モデル実証、PR活動の拡大、モデル実証を通じたガイドブック拡充
  - トレーサビリティの実証及び検証、ものづくり企業の率先利用を想定した認証制度の在り方検討



# 2028年度の社会実装に向けた2026年度の位置付け

- 引き続き、2028年度のレボインターナショナル田原プラントにおけるSAFの製造・県内の空港を利用するエアラインへの供給、NTTデータが開発するトレーサビリティシステムを活用したSAFの製造工程を含めたCO2削減効果を評価する認証制度の創設等を目指していく。
- 2026年度は、回収プロジェクト継続、ガイドブックに基づく自主的取組みの広がりによる回収量の拡大に期待しつつ、新たなモデル実証、PR活動、トレーサビリティ（トレースバック）による回収活動の機運醸成・加速を企図しつつ、ものづくり企業の率先利用を想定した認証制度の在り方の検討を深める。

| 年度                       | 2025                                            | 2026                                                            | 2027 | 2028                 |
|--------------------------|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|------|----------------------|
| 推進協議会会議                  | 年2回開催<br>8月:第1回<br>（キックオフ）<br>2月:第2回<br>（活動報告等） | 年2回開催<br>7月:第1回<br>（進捗報告等）<br>2月:第2回<br>（活動報告等）                 |      | 到達目標<br>（2028<br>年度） |
|                          | 参画メンバー 募集                                       |                                                                 |      |                      |
| 廃食用油等原料<br>回収スキームの<br>構築 | ・回収促進に向けた事<br>例調査、検討<br>・ガイドブック作成               | ・モデル事業の実施・拡大<br>・PR事業の実施<br>・ガイドブックの更新 など                       |      | 地産地消<br>SAFの<br>社会実装 |
|                          | ・認証制度定義等検討<br>・SAFトレーサビリティ<br>システムの開発           | ・ものづくり企業の率先利用<br>を想定した認証制度の<br>在り方検討<br>・トレーサビリティの実証及<br>び検証 など |      |                      |

## （参考）県内の廃食用油賦存量の推計

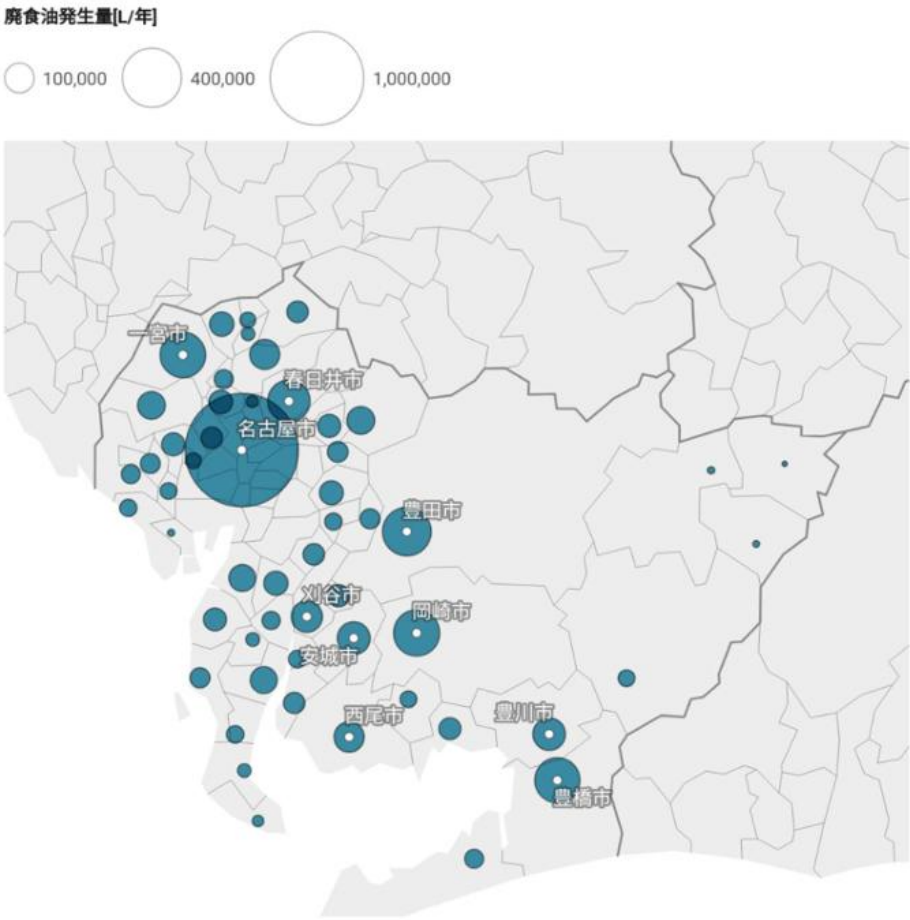
- 愛知県は人口が集積している地域も多く、県内における家庭形廃食用油の推計賦存量は数千kLのオーダー。
- これに対し、2025年度に協議会事務局が実施したアンケートによると、県内での現状の家庭系の廃食用油回収率は約4.9%となっている。
- 引き続き、スーパー等の民間事業者との連携による回収拠点の拡充を行い、回収量の向上を目指したい。

## 愛知県内における家庭形廃食用油の推計賦存量

| 区分           | 世帯数       | 世帯あたり<br>廃食用油発生量<br>[L/年・世帯] | 廃食用油<br>発生量<br>[kL/年] |
|--------------|-----------|------------------------------|-----------------------|
| 県内全体         | 3,368,627 | 1.49                         | 5,030                 |
| 政令指定都市       | 1,174,484 | 1.40                         | 1,644                 |
| 人口 15 万人以上の市 | 1,083,975 | 1.55                         | 1,680                 |
| 人口 15 万人未満の市 | 943,550   | 1.54                         | 1,452                 |
| 町村           | 166,618   | 1.53                         | 255                   |

出所)「愛知県人口動向調査結果年報(2024年)」、総務省「家計調査(2024年)」、全油連 UC オイルのリサイクルの流れ図(令和3年度版)より作成

## 愛知県内における廃食用油賦存量分布



Created with Datawrapper

# 2026年度の各ワーキンググループ活動内容と推進体制

## 原材料回収スキーム構築 ワーキンググループ

廃食用油回収の仕組み等について検討し、モデル事業実施につなげる

### メンバー

レボインターナショナル  
NTTデータ  
小牧市  
田原市

(アドバイザー)  
愛知大学 戸田教授

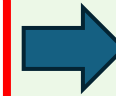
### 2026年度：家庭系廃食用油の回収モデル拡充・PR拡大

#### ①廃食用油回収促進に資するモデル事業

- ・ 尾張地方（小牧市）におけるモデル事業の協議
- ・ 東三河地方におけるモデル事業の協議

#### ②県民向けPR事業の実施

- ・ PR事業の進捗報告



廃食用油回収  
推進のための  
ガイドブック  
の更新

## 認証制度 ワーキンググループ

CO2 削減効果等に基づくSAF のグレード認証制度を策定・運用するための制度設計

### 2026年度：トレーサビリティ実証と実証等を通じた制度検討

### メンバー

レボインターナショナル  
NTTデータ  
アオキスーパー  
JAL  
みずほ銀行

(オブザーバー)  
ClassNK SCS

#### ③ ものづくり企業の率先利用等を想定した認証制度の在り方検討

- ・ 率先利用の意向のある構成員メンバーによるニーズに照らし認証制度の在り方を検討
- ・ 例として地産地消の主張、scope3削減のメリットの検討に基づく検討深掘り

#### ④ トレーサビリティの実証及び検証

- ・ 昨年度に立ち上げたアオキスーパー様の取組みを踏まえたトレーサビリティの実証
- ・ 回収に協力する県民への情報還元、トレーサビリティに基づくScope3削減主張の実証



認証制度・トレーサビリティ本格運用に向けた計画

# 2026年度の協議会運営

- 前述のとおり、回収プロジェクト継続、ガイドブックに基づく自主的取組みの広がりへの期待（既存取組みの継続・横展開）がある。
- このことも念頭に、今後の協議会では、構成メンバーによる活動概況紹介・意見交換を議題に、極力取り入れることとしたい。
- なお、会場はラウンドテーブル方式での座席配置とし、リモート参加の構成メンバーの発言も歓迎させていただきたい。

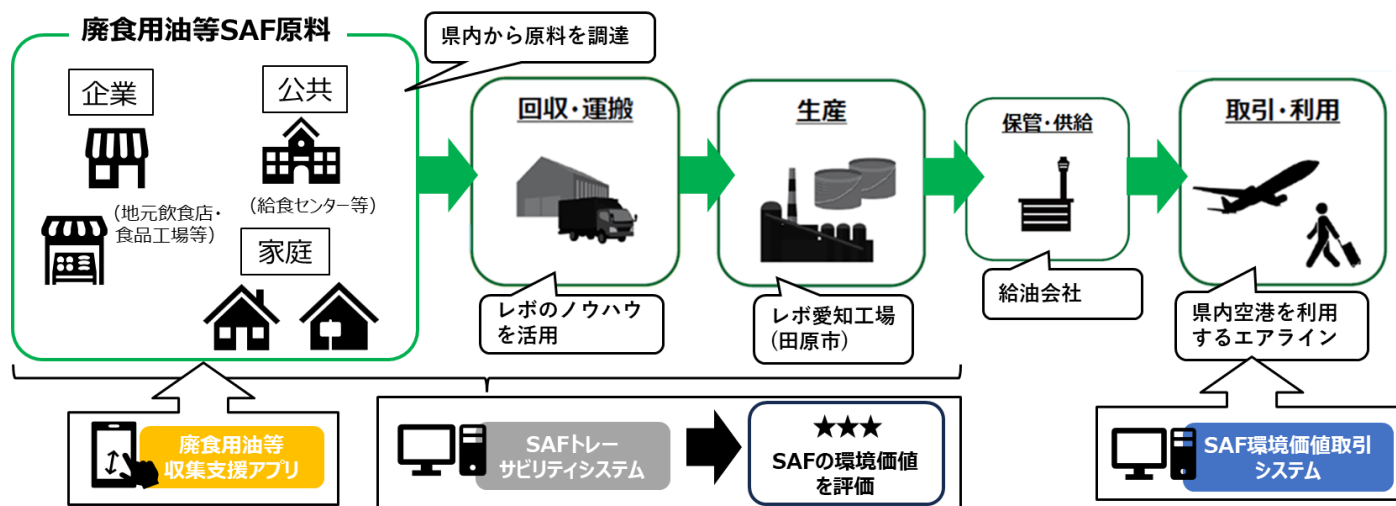


# (参考) 地産地消SAFサプライチェーン構築プロジェクトの概要

## 1. 内容

- 本地域の飲食チェーン店や家庭等から回収した**廃食用油等を原料**に、株式会社レボインターナショナルが田原市に設置する**SAF製造プラント**において、同社の特許技術である**CO2排出量の少ない方法**でSAFを製造し、**県内の空港を利用するエアラインへの供給**を目指す
- 株式会社NTTデータが開発する**トレーサビリティシステム**を活用し、**廃食用油等の原料の回収・SAF製造・輸送等に伴うCO2排出量を正確に把握**。同システムを活用して**SAFの製造工程を含めたCO2削減効果を評価する認証制度の創設等**を検討し、**環境負荷の低いSAFの利用促進**や**SAF製造業者等の本地域への新規参入等**を促す
- これらの取組を通じ、**原料となる廃食用油等の回収からSAFの製造、供給、利用まで含めた地産地消サプライチェーンの構築を目指す**

## 2. イメージ



### 【期待される効果】

廃食用油からSAFを製造した場合  
**CO2削減量：約3万t/年**  
※SAFと同時に生成される連産品によるCO2削減効果も含む  
廃食用油以外の原料（森林資源等）からもSAFを製造した場合  
**CO2削減量：約42万t/年**

### (株) レボインターナショナル愛知工場

愛知県田原市緑が浜二号 1-4

◆ 竣工：2025年 2月

◆ 敷地面積：9,768m<sup>2</sup>

◆ バイオディーゼル生産：3万ℓ/日

SAF生産：600ℓ/日



## 3. 提案企業の主な役割

| 役割                           | 会社名         |
|------------------------------|-------------|
| 原料の廃食用油の回収、SAF製造 等           | レボインターナショナル |
| CO2排出量トレーサビリティシステム等の各種システム開発 | NTTデータ      |

# あいち地産地消SAFサプライチェーン推進協議会

※2026.7.7現在

会長 知事

プロジェクト  
提案企業

株式会社レボインターナショナル  
株式会社NTTデータ

会員  
45企業・団体

【廃食用油を有効活用したい企業】  
(株)アオキスーパー、(株)吉番屋、  
イフスコダイニング(株)、(株)甲羅、  
(株)ジェイグループホールディングス、  
藤一番、ホンダ開発(株)、  
(株)焼肉坂井ホールディングス

【廃食用油を有効活用したい自治体】  
名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、半田市、春日井市、  
豊田市、安城市、常滑市、小牧市、東海市、大府市、知多市、  
岩倉市、豊明市、田原市、愛西市、みよし市、あま市、東郷町、  
豊山町、大治町、蟹江町、阿久比町、東浦町、美浜町

【廃食用油を有効活用したいその他団体】  
県立津島高等学校

【空港】中部国際空港、県営名古屋空港

【航空機関連メーカー】  
(株)本田技術研究所、三菱重工航空エンジン(株)

【エアライン】日本航空(株)

【運行会社】本田航空(株)

【金融機関】三菱UFJ銀行、みずほ銀行

【その他】(株)豊田自動織機、山崎産業(株)

※企業は五十音順、  
自治体は建制順

アドバイザー

愛知大学 地域政策学部 戸田敏行教授  
名城大学 理工学部  
社会基盤デザイン工学科 松本幸正教授

オブザーバー

経済産業省中部経済産業局  
環境省中部環境局  
愛知県地球温暖化対策課  
愛知県航空空港課  
BOEING JAPAN

## ワーキンググループ <原材料回収スキーム構築>

廃食用油回収の仕組み等について検討し、モデル事業実施につなげる

## ワーキンググループ <認証制度>

CO2 削減効果等に基づくSAF のグレード認証制度を策定・運用するための制度設計